



# 2021 日本のうたごえ祭典 in ひろしま

## 企画ニュース

全国女性のうたごえ  
ニュース②

2021.9.24  
祭典企画委員

## 『全国女性のうたごえ』のレッスン始まる

### 「母さんたちの贈りもの」・「リメンバー」



9月20日（祝月）、いよいよ全国女性のうたごえ、広島での練習が始まりました。緊急事態宣言による練習会場閉鎖で、音楽センターから zoom によるオンラインレッスンとなりました。配信は山上茂典さん、寺本学さんをお願いしました。そして指揮は、たぶん受講生も初めてお会いする**加島裕美先生**、ピアノ伴奏はいつも素敵な田中香月さんでした。レッスンの様子は、合唱隊の一人、生協ひろしま虹のコーラスの大畑美枝子さんがレポートしてくれました。（企画委・大橋）

### 音楽センターでのレッスンに参加して

加島裕美先生の魅力たっぷりの世界に引き込まれ、あっという間のレッスンでした。

まず、準備運動では、ろっ骨を手で押さえて固定し、腰（股関節）を前後左右に動かす。先生のあまりにもスムーズな動きは、まるでフラダンスを踊られているようでした。

レッスンでは多くのことを学びましたが、特に印象に残ったことを書いてみます。

- ① 音読。歌詞をイメージして、声を出して読みました。繰り返し、フレーズごとに語りました。そして、そのイメージを、常に頭において忘れないように準備しながらうたう。集中してないとすぐにわかってしまう。
- ② また、“子音と母音は離して考える。”子音は早めに準備し、母音を押し出さないようにする。
- ③ 楽譜には作者の思いが全て書かれている。忠実に歌うことの大切さ。
- ④ 数の多い言葉のはめ方は、日々の練習しかない。時には腰を振ったり、手を振ったり、動作でリズムを付けて覚える。

など、先生のレッスン方法は、とてもユニークなやり方で新鮮でした。

このレッスンで気づいたことがもう一つあります。私は手話を勉強中で、ろう者に

通じるような表現を心がけています。

レッスン曲の「リメンバー」の場合、歌詞の中に「国境はひかれていない」の「ない」という否定言葉のときには、無意識に顔の表情で、まゆをちょっと寄せていた。しかし、今回のレッスンをうけて、この歌詞の真の意味は「国境はない、地球はひとつ、うれしいこと」という意味であるならば、まゆは広げて、うれしい気持を表さなければいけなかったことに気づき、反省！

それにしても「息の柱を保って」歌うことは大変だった。疲れたけど充実した2時間半でした。

これからも、加島先生のレッスンで教わったことを忘れないように、努力していきたいです。

(虹のコーラス 大畑 美枝子)

### ♪今後の女性のうたごえレッスン予定

10月3日(日) 10:00~12:30 中央公民館(4F ホール)

10月10日(日) 10:00~12:30 中広会館(1F 集会室)

10月17日(日) 10:00~12:30 中央公民館(4F ホール)

11月21日(日) 10:00~12:30 会場未定

**奮ってご参加ください！**

**10月10日**

**本番指揮者**

**山本恵造先生**

**(関西合唱団・**

**レガータ指揮者)**

**来広！**

♪9月20日現在の登録数 全国69名／200名 広島19名／50名

**新しい指導者の息吹を感じて、**

**うたごえ祭典での女声合唱を楽しみましょう！**

